

○ 中学校社会 第1学年 ①  
「世界各地の人々の生活と環境」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関 意 態	思 判 表	知 技 理
(1)	人口とメダル獲得数データから、人口に対するメダル獲得の割合を計算して求める問題である。 表掲載9か国のうち、北アメリカ州に属する国が2か国しかないことに気付けば、2か国のみを比較で解答を導くことができる。	地理的分野－内容(1)のうち、ア－世界の地域構成と、イ－世界各地の人々の生活と環境についての活用問題である。		◎	○
(2)	正距方位図法の意味を正しく理解しており、各大陸や表に示された国々の位置についての知識を活用しながら、東京を中心とした正距方位図法における各大陸や表に示された国々の位置関係を読み取る技能をみる問題である。	授業で学習した主な国々の名称と位置、地域区分、緯度と経度に関する知識や、世界地図の活用技能などを前提とし、ロンドンオリンピックの参加国の状況を手がかりにしながら、知識や技能を活用しながら思考する力をみる問題としている。		◎	○
(3)	表に示された国々の位置や特色に関する知識をもとに、会話文で述べられている特色から、該当国を特定していく問題である。				◎
(4)	緯度に関する知識をもとに、高緯度に位置する地域では夏と冬とで昼夜の長さに大きな差が生じることに気付くとともに、これまでの生活経験から宮崎における2月の日没時間を想起することによって、宮崎よりも高緯度に位置するロンドンの日没時間を予測し、選択肢の中から不適切なものを除外するなどして、解答を導き出す問題である。			◎	○ ○